

サイクルInformation

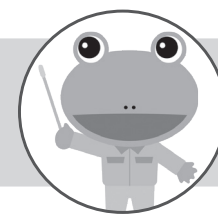
原子燃料サイクルを確立し エネルギーの未来を切り拓く

原子力発電で使用しているウラン燃料は約95%がリサイクルできます。

使用済燃料を再処理して再び燃料として原子力発電所で使用する流れを「原子燃料サイクル」といい、これにより、エネルギー資源の少ない日本において、長期的に安定してエネルギーを確保することができます。

当社は、世界最高の技術へ挑戦し、原子燃料サイクルの確立に向け、協力会社と一丸となって全力で取り組んでまいります。

2025年6月分(2025年6月1日～6月30日)の
施設のトラブル情報等を取りまとめて、お知らせします。



トラブル等の情報は事象の重大性(A情報→不適合等)に応じて情報区分を定めています。

情 報 区 分		件数
A情報	安全協定報告事象等	0件
B情報	事象の進展又は状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等	0件
C情報	A情報、B情報に該当しない軽度な不具合、漏えい、汚染等、特に連絡を要する事象	0件
運転情報(C情報に至らないごく軽度な機器故障)		0件
清掃や調整で復旧可能な機器停止等		0件
不適合・改善事項		6件

【不適合の主な内容】

- ・再処理工場：よう素除去および工程溶解設備 空気作動弁の一時的な動作不良
- ・再処理工場：還元炉B廃ガス排風機の内部部品の固着
- ・使用済燃料受入れ・貯蔵施設：安全冷却水復旧作業での警報発報 他

※不適合とは仕様や機能など所定の要求を満たしていない状態をいいます。

発生した不適合については、原因究明、再発防止を含めた是正処置、水平展開等の検討を行い、重要度に応じて処置方針を決定し再発防止対策等を講じます。処置状況についてはホームページで公表しています。

お 問 い 合 せ 先

日本原燃株式会社 地域・広報本部 広報部
〒030-0801 青森県青森市新町二丁目2-11
Tel.017-731-1658 (平日9:00～17:00)
Fax.017-731-1552

日本原燃ホームページはこちら→



ひとりひとり、ひとつひとつ。



日本原燃